

社会経済史学会

第90回全国大会プログラム

2021年5月15日(土)・16日(日)
オンラインにて開催
開催校：神戸大学

5月15日(土)	9:00—11:35	自由論題報告(午前)
		第1会場 日本史①
		第2会場 日本史②
		第3会場 日本史③
		第4会場 西洋史①
		第5会場 アジア・アフリカ史①
		第6会場 日本史④
	11:45—12:30	特別講演
	12:30—13:30	昼休み
	13:30—17:00	自由論題報告(午後)
		第1～6各会場
	17:20—18:10	会員総会
	18:20—18:50	懇親会

5月16日(日)	9:30—12:30	パネル・ディスカッション①～④
	12:30—13:30	昼休み
	13:30—16:30	パネル・ディスカッション⑤～⑧

※各会場への参加方法は個別にお知らせいたします。

1 9:00-9:45

**データからみた14世紀の京都の
利率について**

—15世紀との比較も視野に—

報告者 田中浩司(函館大学)

司会者 高槻泰郎(神戸大学)

2 9:55-10:40

**日本経済史・日本史上での貨幣論・紙幣
論に関する若干の考察**

—国際経済学と歴史制度分析における貨幣論・
紙幣論の視点から—

報告者 大越良裕(大分県公文書館非常勤嘱託職員)

司会者 鎮目雅人(早稲田大学)

3 10:50-11:35

**Industrialisation and the Labour Force:
A Four-country Exposition of
Structural Change**

報告者 斎藤 修(一橋大学名誉教授)

司会者 岡崎哲二(東京大学)

4 13:30-14:15

**幕府公定レート1両50目についての
一考察**

—慶長14年の定をめぐって—

報告者 鈴木敦子(大阪大学大学院経済学研究科助手)

司会者 藤井典子(慶應義塾大学)

5 14:25-15:10

**幕末・明治期における薪炭林入会地
の資源管理**

報告者 伊藤 悠(東京大学大学院)

司会者 中西 聡(慶應義塾大学)

6 15:20-16:05

**明治期における旧長州藩主毛利家資産
の由来と性格**

—加賀前田家との比較で—

報告者 松村 敏(神奈川大学)

司会者 三浦 壮(鹿児島大学)

7 16:15-17:00

なし

1 9:00-9:45

近代におけるガラス瓶製造の転換期とその影響

—考古学資料の瓶類の製造技術に着目して—

報告者 梶木理央(青山学院大学大学院)
司会者 橋口勝利(慶應義塾大学)

2 9:55-10:40

分権的体制の制度変化と資源開発

—戦前と戦後の長野県梓川の電源開発—

報告者 荻山正浩(千葉大学)
司会者 中瀬哲史(大阪市立大学)

3 10:50-11:35

なし

4 13:30-14:15

明治30年代における王子製紙の長野県下伊那郡遠山地域への進出

—地域社会の動向に着目して—

報告者 太田仙一(飯田市歴史研究所研究員)
司会者 山口明日香(名古屋市立大学)

5 14:25-15:10

生産統制と産地綿織物業

—日本綿織物工業組合連合会の設立に着目して—

報告者 橋口勝利(慶應義塾大学)
司会者 阿部武司(国士舘大学)

6 15:20-16:05

近代日本における女性の働き方・生き方の変化

報告者 千本暁子(阪南大学)
司会者 榎一江(法政大学)

7 16:15-17:00

なし

1 9:00-9:45

為替レートと輸出の関係はどのよう
に認識されるのか

—1920年代の日本の経験—

報告者 畑瀬真理子(神戸大学大学院)

司会者 高橋秀直(筑波大学)

2 9:55-10:40

データサイエンスが明らかにする「軍
国支配者の精神形態」

報告者 安中 進(早稲田大学高等研究所)*

原 健人(早稲田大学大学院)

司会者 小野塚知二(東京大学)

3 10:50-11:35

なし

4 13:30-14:15

高度成長期の「技術交流」政策構想

—「特許公開」と「国内技術交流」を中心に—

報告者 佐竹康扶(中南財経政法大学非常勤講師

・早稲田大学大学院研究生)

司会者 沢井 実(南山大学)

5 14:25-15:10

証券会社に対する日銀考査の実態
(1979~1991)

—金融自由化時代の証券会社と日銀の関係—

報告者 佐藤健太郎(東京大学大学院)

司会者 岸田 真(日本大学)

6 15:20-16:05

天野為之(1861-1938)

—日本で最初の近代経済学者—

報告者 池尾愛子(早稲田大学)

司会者 岡崎哲二(東京大学)

7 16:15-17:00

なし

1 9:00-9:45

18世紀後半ザクセン繊維産業における技術の受容

—懸賞課題の懸賞金額に着目して—

報告者 掘井誠史(中央学院大学)

司会者 馬場 哲(武蔵野大学)

2 9:55-10:40

1851年センサスから見る19世紀中期イングランドにおける女性の結婚と労働

報告者 陳 夢園(大阪大学大学院)

司会者 奥田伸子(名古屋市立大学)

3 10:50-11:35

なし

4 13:30-14:15

第一次大戦前フランス銀行をめぐる制度設計に関する考察

—立法と行内規定の変遷を手がかりに—

報告者 武田佑太(札幌大学)

司会者 齊藤佳史(専修大学)

5 14:25-15:10

1930年代イギリス通商政策と投資利害

報告者 佐藤 純(東北学院大学)

司会者 坂本優一郎(関西学院大学)

6 15:20-16:05

アメリカの歴史教科書における第二次世界大戦中の社会変動

—1941年~1945年のアメリカ国民生活の変遷を中心に—

報告者 大島京子(東洋哲学研究所研究員)

司会者 上野継義(京都産業大学)

7 16:15-17:00

租税を通じた共同市場の創設

—欧州共通付加価値税の導入においてフランスが果たした役割を中心に—

報告者 小西杏奈(帝京大学)

司会者 石山幸彦(横浜国立大学)

1 9:00-9:45

両大戦間期中国における湖南米流通

—長沙・上海米穀市況を事例に—

報告者 篠根拓人(慶應義塾大学)

司会者 村上 衛(京都大学)

2 9:55-10:40

日本統治期の台湾農民による灌漑技術の利用

—原動機ポンプ・風車・竜骨車—

報告者 都留俊太郎(京都大学)

司会者 平井健介(甲南大学)

3 10:50-11:35

なし

4 13:30-14:15

18世紀後半のバタヴィアにおけるアヘン利権の構造

—海域アジアのアヘン貿易競争とバタヴィア政庁の独占をめぐる—

報告者 大久保翔平(東京大学大学院)

司会者 西村雄志(関西大学)

5 14:25-15:10

戦間期日印ガラス工業の競争と協調

—インド関税委員会ガラス工業報告書からみる1930年代日印の二重構造—

報告者 玉村 紳(大阪大学大学院)

司会者 野村親義(青山学院大学)

6 15:20-16:05

海底ケーブルと果物

—戦間期の南アフリカ産果物輸出におけるネットワーク—

報告者 宗村敦子(千葉経済大学)

司会者 玉木俊明(京都産業大学)

7 16:15-17:00

なし

1 9:00-9:45

From Lyon to Kyoto

— Modernization of traditional silk-weaving district in Japan, 1887-1929—

報告者 橋野知子(神戸大学)

司会者 榎一江(法政大学)

2 9:55-10:40

1930~1940年代の羊毛紡織工業の繊維資源不足への対応

—化学繊維・代用繊維の取り組みを中心に—

報告者 平野恭平(神戸大学)

司会者 杉山里枝(國學院大学)

3 10:50-11:35

なし

4 13:30-14:15

『灘の酒』ブランドの再構築と産地の展開

—原料米の変化と清酒生産の構造変化—

報告者 相川雄哉(神戸大学大学院)

司会者 大島朋剛(神奈川大学)

5 14:25-15:10

小西新右衛門の大名貸と藩債処分

報告者 高槻泰郎(神戸大学)

司会者 三浦 壮(鹿児島大学)

6 15:20-16:05

戦前高等教育の入学者選抜制度改革

—マッチング理論とEBPMの観点からの考察—

(第7報告と合同)

報告者 森口千晶(一橋大学)

司会者 中林真幸(東京大学)

7 16:15-17:00

明治期日本の医学制度と「難病」

—帝国陸海軍の脚気対策—

(第6報告と合同)

報告者 村上 愛(Northwestern University) *

松井彰彦(東京大学)

司会者 中林真幸(東京大学)

“Infrastructure and Institutions: Lessons from History”

Speaker / 講演者

Professor Dan Bogart, UC Irvine

Abstract / 講演要旨

Many studies quantify the effects of infrastructures on economic welfare in the past with the aim of informing policy makers today. A different group of historical studies examines how infrastructures came about and how they were financed. These latter studies often highlight the role of the franchise and democracy. In this essay, I review historical studies on infrastructure and institutions, especially formal political constraints. One consistent finding is that policies to fund and place infrastructure in locations largely reflect the aims of those in power or with greater political influence. This illustrates one of the channels by which political institutions ultimately affect economic development. History offers a range of lessons, more of which can be uncovered through future research.

Biography / 講演者略歴

Education:

Ph.D., Economics, UCLA, 2003; M.A., Economics, UCLA 2000;

B.S., Economics, University of Minnesota 1998; B.A., Summa Cum Laude, History, University of Minnesota 1998; B.A., Mathematics, University of Minnesota 1998

Employment:

2003-2009, Assistant professor, Department of Economics, UC Irvine

2009-2019, Associate professor, Department of Economics, UC Irvine

2019-present, Professor, Department of Economics, UC Irvine

Editorial and other social activities (selective):

2009-2013, Editorial Board, *Journal of Economic History*

2015-2018, Co Editor, *European Review of Economic History*

2018-present, Co Editor, *Journal of Economic History*

2018-present, Executive committee member, International Economic History Association (IEHA)

Publications(Selective) / 主な業績

1. “Extractive Institutions? Investor returns to Indian railway companies in the Age of High Imperialism” (joint with Latika Chaudhary), *Journal of Institutional Economics* 15 (2019): 751-774.
2. “Canal Carriers and Creative Destruction in England's Transport Sector” (joint with Mike Lefors and Max Satchell). *Explorations in Economic History* 71 (2019): 1-24.
3. “Party Connections, Interest Groups, and the Slow Diffusion of Infrastructure: Evidence from Britain's First Transport Revolution.” *Economic Journal* 128 (2018): 541-575.
4. “Engines of Growth: The Productivity Advance of Indian Railways, 1874-1912” (joint with Latika Chaudhary). *Journal of Economic History* 73 (2013): 339-370 (awarded the Cole Prize for the best article in *Journal of Economic History* 2013).
5. “A Global Perspective on Railway Inefficiency and the Rise of State Ownership, 1880-1912.” *Explorations in Economic History* 47 (2010): 158-178.
6. “Making Property Productive: Reorganizing Rights to Real and Equitable Estates in Britain, 1600-1830” (joint with Gary Richardson). *European Review of Economic History* 13 (2009): 3-30.
7. “Did the Glorious Revolution Contribute to the Transport Revolution? Evidence from Investment in Roads and Rivers.” *Economic History Review* 64 (November 2011), 1073-1112.
8. “Nationalizations and the Development of Transport Systems: Cross-Country Evidence from Railroad Networks: 1860-1912.” *Journal of Economic History* 69 (2009): 202-237.
9. “Turnpike Trusts and the Transportation Revolution in Eighteenth Century England.” *Explorations in Economic History*, 42 (2005): 479-508 (awarded the Explorations Prize for best article in *Explorations in Economic History*).

5月15日(土)

時間：17:20—18:10

会員総会

時間：18:20—18:50

懇親会

パネル・ディスカッション（午前） 時間：9：30—12：30 5月16日（日）

パネル・ディスカッション

パネル① 第1会場 オーガナイザー 飯島 渉（青山学院大学）

感染症対策をめぐる国家・社会・個人の相克

司会者 大門正克（早稲田大学） 討論者 大門正克（早稲田大学）
報告者 鎮目雅人（早稲田大学）
飯島 渉（青山学院大学）
齋藤純一（早稲田大学）

パネル② 第2会場 オーガナイザー 谷本雅之（東京大学）

比較史からみる生活の存立構造

—17-20世紀の日本とプロイセンを手がかりに—

司会者 荒武賢一朗（東北大学東北アジア研究センター） 討論者 永山のどか（青山学院大学）
報告者 飯田 恭（慶應義塾大学） 岸本美緒（お茶の水女子大学名誉教授）
荒武賢一朗（東北大学東北アジア研究センター）
木下光生（奈良大学）
谷本雅之（東京大学）

パネル③ 第3会場 オーガナイザー 木村健二（下関市立大学名誉教授）

近代国家成立期における地域社会の変容

—山口県旧宮野村役場文書の分析を中心に—

司会者 勝部真人（広島大学名誉教授） 討論者 松澤裕作（慶應義塾大学）
報告者 木村健二（下関市立大学名誉教授）
木部和昭（山口大学）
真木奈美（山口大学非常勤講師）
奥 須磨子（和光大学名誉教授）

パネル④ 第4会場 オーガナイザー 長谷部 弘（東北大学）

村落社会の市場経済化と共同性の諸相

—近世における上塩尻村（長野県上田市）の事例分析から—

司会者 高橋基泰（愛媛大学） 鷲崎俊太郎（九州大学）
報告者 長谷部 弘（東北大学名誉教授） 討論者 高橋美由紀（立正大学）
村山良之（山形大学）
山内 太（京都産業大学）
岩間剛城（近畿大学）

パネル・ディスカッション（午後） 時間：13:30—16:30 5月16日（日）

パネル・ディスカッション

パネル⑤ 第1会場

オーガナイザー 中西 聡（慶應義塾大学）

近代日本における林業資産家の事業展開

—吉野林業と永田家—

司会者 山口由等（流通経済大学）

討論者 なし

報告者 中西 聡（慶應義塾大学）

渡邊恵一（駒澤大学）

北澤 満（九州大学）

パネル⑥ 第2会場

オーガナイザー 村上 衛（京都大学）

転換期中国・インドにおける資源配分

—土地・労働力・航運—

司会者 城山智子（東京大学）

小川道大（東京大学）

報告者 村上 衛（京都大学）

木越義則（名古屋大学）

富澤芳亜（島根大学）

討論者 岡本隆司（京都府立大学）

神田さやこ（慶應義塾大学）

脇村孝平（大阪経済法科大学）

田口宏二郎（大阪大学）

石川亮太（立命館大学）

パネル⑦ 第3会場

オーガナイザー 森 宜人（一橋大学）

Towards a Transnational Urban History of Japan and Europe

—Making of the 20th Century City as Parallel and Interlinked Phenomenon—

司会者 馬場 哲（武蔵野大学）

Katja Schmidpott (Ruhr University Bochum)

報告者 Julia Mariko Jacoby (University of Freiburg)

討論者 Rainer Liedtke (University of Regensburg)

高嶋修一（青山学院大学）

森 宜人（一橋大学）

Beate Löffler (University of Dortmund)

パネル⑧ 第4会場

オーガナイザー 中林真幸（東京大学）

日本中世経済史の回顧と展望

司会者 中村尚史（東京大学）

高島正憲（関西学院大学）

報告者 中林真幸（東京大学）

討論者 佐藤泰弘（甲南大学）

西谷正浩（福岡大学）

早島大祐（関西学院大学）

綿貫友子（神戸大学）